



「斐太北まつり 大成功！」

斐太北まつりエンディングで子どもたちに次のような話をしました。

「今、各学年の代表から、感想発表がありました。それぞれ、楽しかったこと、嬉しかったこと、学んだこと、いろいろな感想がありました。とても、いい感想発表でした。発表しなかったみなさんにも、それぞれ、いろいろな感想があると思います。校長先生も、今年の斐太北まつりに参加しながら、いろいろなことを考えました。考えた中から3つだけお話しします。

一つ目は、伝える力、聞く力をつけたことです。当日までの練習、そして、今日の発表でも一人一人が、力をつけたことがよく分かりました。発表を観る態度も立派でした。やっていることを楽しむ『楽習』ができていたと思います。(先日、全校朝会で、『学習を楽しもう』という話をしました。)

二つ目は、仲間のつながりが深まったことです。学級、そして、学校全体のチームワークが高まったことを感じました。5・6年生は、前日準備もとてもよくやってくれました。6年生を中心としてよくリードしてくれたことに感謝しています。

三つ目は、『学びはつながっていく』ということです。発表練習で身に付けたことを生かす。午後の『斐太北チャレンジ』で体験したことを生かす。今日までの学びをこれからの学びに生かす。学びはつながっていきます。そして、3月には、一つ学年が上がります。6年生は卒業です。その時、どんな自分でありたいか。どんな仲間でありたいか。どんな斐太北小学校になっていきたいか。自分の、仲間の、いい姿をイメージして、『今日はこんなことを学ぶことができたな。』『こんな力がついたな。』『今日も楽しかったな。』『いい日だったな。』、そんな毎日を積み重ねていってほしいなと思います。

今年の斐太北まつりも大成功でした。また、これからも、みんなで、楽しく、元気に勉強していきましょう。」

机の上ですることだけが勉強ではありません。一人ですることだけが勉強ではありません。机を離れて、みんなで汗かいて知恵を振り絞って、一人一人が真剣に取り組み、一つの行事を創り上げていく。そこに貴重な学びがあります。そこに一人一人が本物の学力をつける場があります。子どもたちの成長した姿に斐太北まつりを教育期Ⅲ期のメイン行事として取り組んできた意義をあらためて感じた1日となりました。

斐太北まつりへの参画とご支援をありがとうございました。これからもよろしくお願ひします。

校長 加藤 晃

クラブボランティアさんありがとう！

10月で5回のクラブ活動が終了しました。妙高市子縁ボランティアの皆様からご協力をいただき、子どもたちの興味・関心を伸ばす多彩な活動が展開されました。

